

青い空に、赤や白の玉が高く上がる、秋晴れの運動会。小学一年生の弟ゆうたは、今日がはじめてのかけっこだ。朝から、ゆうたは何度も「こわいなあ。」と言っていた。姉のさなは、「大じょうぶ、いつも通りでいいんだよ。」と、そのせなかを、そっとおしてあげたのだった。スタートラインに立つゆうたの顔は、少しこわばっている。

「よいい、ドン。」ピストルの音がひびいた。ゆうたは、力いっぱい走り出した。けれども、とちゅうで足がもつれて、ころんてしまった。ひざを地面に打ち、ゆうたの目に、じわりと痛みがうかぶ。ゴールの近くで見ていたさなは、思わず立ち上がった。

（がんばれ、ゆうた。）さなは、心の中で、強く願った。すると、ゆうたは、くちびるをかみしめ、ゆっくりと立ち上がった。ひざはすりむけていたが、また前を向いて、走り出したのだ。ほかの子は、もうゴールしている。それでも、ゆうたは、足を止めなかった。ころんでも、あきらめずに立ち上がる弟の姿に、さなのおねは、あつくなった。

「ゴール。」一人だけおくれて、ゆうたはテープを切った。さなは、いつのまにか、ほおをなみだでぬらしていた。かけよって、「さいごまで走って、えらかったよ。」と、弟をぎゅつとだきしめる。ゆうたは、はずかしそうに、でも、うれしそうに、にっこり笑った。順位はビリでも、さなには、ゴールした弟のせなかが、だれよりも大きく、きらきらとかがやいて見えた。

（1）ゆうたにとって、今日の運動会は、何が初めての日でしたか。文しよの言葉を使って書きましよう。

（2）ころんで「なみだがうかぶ」とありますが、このときのゆうたは、どんな気持ちだったと考えられますか。書きましよう。

（3）ころんだあと、ゆうたはどうしましたか。文しよの言葉を使って書きましよう。

（4）さなが「ほおをなみだでぬらしていた」のは、なぜですか。正しいものを一つえらびましよう。

ア 弟がビリで、はずかしかったから
イ 自分もころんで、いたかったから

ウ ころんでも、さいごまで走った弟に、心を打たれたから

エ 早く家に帰リたかったから

（5）この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

例えば

「ビリでも、さいごまであきらめない姿は、かっこいいと思つた。」

「家族が本気で応援する気持ちだが、よく伝わってきた。」

青い空に、赤や白の玉が高く上がる、秋晴れの運動会。小学一年生の弟ゆうたは、今日がはじめてのかけっこだ。朝から、ゆうたは何度も「こわいなあ。」と言っていた。姉のさなは、「大じょうぶ、いつも通りでいいんだよ。」と、そのせなかを、そっとおしてあげたのだった。スタートラインに立つゆうたの顔は、少しこわばっている。

「よいい、ドン。」ピストルの音がひびいた。ゆうたは、力いっぱい走り出した。けれども、とちゅうで足がもつれて、ころんでしまった。ひざを地面に打ち、ゆうたの目に、じわりと痛みだがかぶ。ゴールの近くで見ていたさなは、思わず立ち上がった。

（がんばれ、ゆうた。）さなは、心の中で、強く願った。すると、ゆうたは、くちびるをかみしめ、ゆっくりと立ち上がった。ひざはすりむけていたが、また前を向いて、走り出したのだ。ほかの子は、もうゴールしている。それでも、ゆうたは、足を止めなかった。ころんでも、あきらめずに立ち上がる弟の姿に、さなのおねは、あつくなった。

「ゴール。」一人だけおくれて、ゆうたはテープを切った。さなは、いつのまにか、ほおをなみだでぬらしていた。かけよって、「さいごまで走って、えらかったよ。」と、弟をぎゅつとだきしめる。ゆうたは、はずかしそうに、でも、うれしそうに、にっこり笑った。順位はビリでも、さなには、ゴールした弟のせなかが、だれよりも大きく、きらきらとかがやいて見えた。

（1）ゆうたにとって、今日の運動会は、何がはじめての日でしたか。文しよの言葉を使って書きましよう。

（例）一人で走る、はじめてのかけっこ。

（2）ころんで「なみだがかぶ」とありますが、このときのゆうたは、どんな気持ちだったと考えられますか。書きましよう。

（例）ころんでしまって、いたくて、くやしい気持ち。

（3）ころんだあと、ゆうたはどうしましたか。文しよの言葉を使って書きましよう。

（例）くちびるをかみしめ、立ち上がって、また前を向いて走り出した。

（4）さなが「ほおをなみだでぬらしていた」のは、なぜですか。正しいものを一つえらびましよう。

ア 弟がビリで、はずかしかったから

イ 自分もころんで、いたかったから

ウ ころんでも、さいごまで走った弟に、心を打たれたから

エ 早く家に帰リたかったから

（5）この物語を読んで、あなたが考えたことを書きましよう。

（例）じゅん位がビリでも、さいごまであきらめずにがんばる姿は、かっこいいと思った。わたしも、とちゅうでやめずにやりきりたい。

例えば

「ビリでも、さいごまであきらめない姿は、かっこいいと思った。」

「家族が本気で応援する気持ち、よく伝わってきた。」

解答・解説 弟の運動会（4年・物語文）

問1 （例）一人で走る、はじめてのかけっこ。

一つ目の段落に「今日がはじめてのかけっこだ」とあります。

問2 （例）ころんでしまって、いたくて、くやしい気持ち。

ころんでひざを打ち、なみだをうかべています。「いたい」「くやしい」「かなしい」などが書けていれば正かいです。

問3 （例）くちびるをかみしめ、立ち上がって、また前を向いて走り出した。

三つ目の段落に「立ち上がった」「また前を向いて、走り出した」とあります。あきらめなかったことが書けていれば正かいです。

問4 ウ

ころんでもあきらめずに走りきった弟の姿に、さなは心を打たれ、なみだを流しています。「えらかったよ」という言葉からも分かります。

問5 （例）じゅん位がビリでも、さいごまであきらめずにがんばる姿は、カッコいいと思った。わたしも、とちゅうでやめずにやりきりたい。

ゆうたのがんばりと、自分の考えや体けんが結びついて書けていれば正かいです。